

Sustainable Report No.147

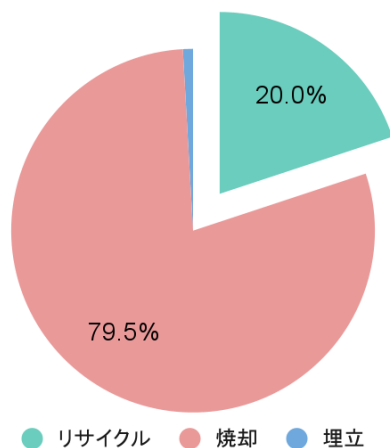
食の循環を生むコンポスト



■ 処分方法の現状

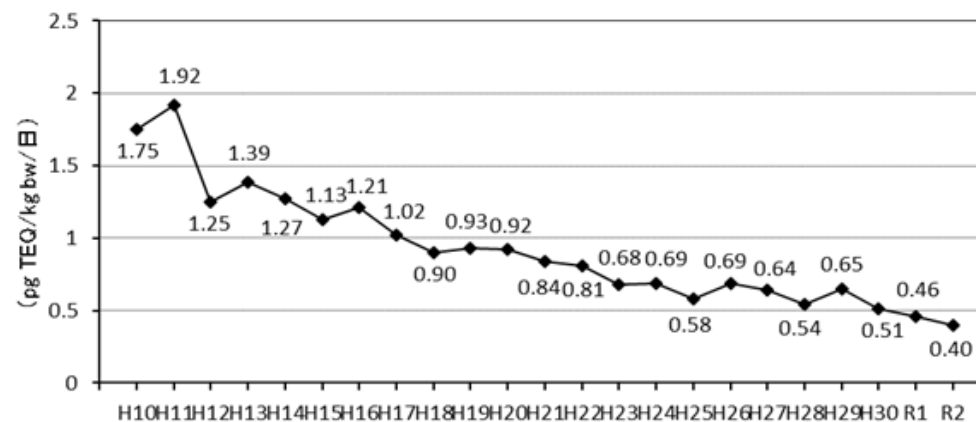
- 2022年時点で日本のリサイクル率は20%。平均40%を超えるEU加盟国と比べて低い。
- 焼却率は79.5%で、家庭からの生ごみと可燃ごみの分別を行っている自治体は全体の14.6%。
- 焼却によって排出された**ダイオキシン類**は一部魚介類からは高い濃度で検出され、食物連鎖を通して**生体にも影響を及ぼす可能性がある**。

■ 処分方法割合



出典：「一般廃棄物処理事業実態調査の結果（令和2年度）について」を基に筆者作成

■ ダイオキシン類一日摂取量



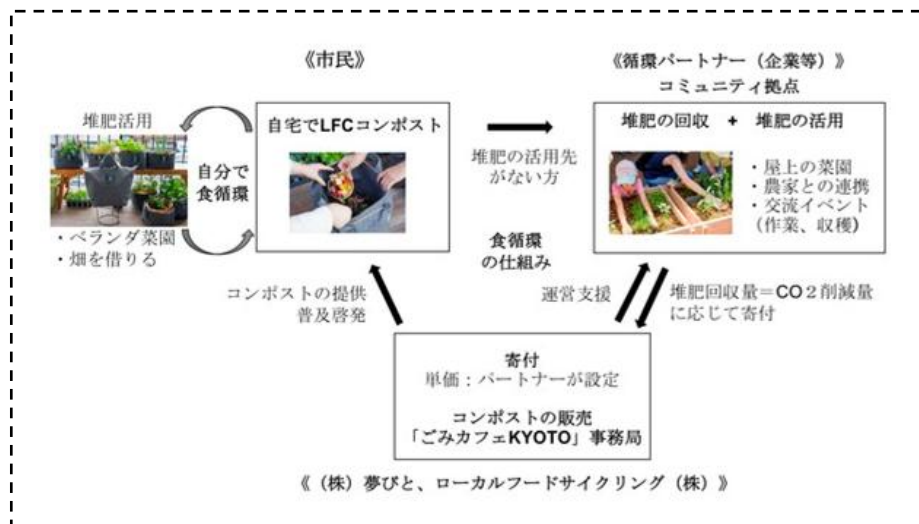
出典：厚生労働省

リサイクル率を上げるために

■ 取り組み内容

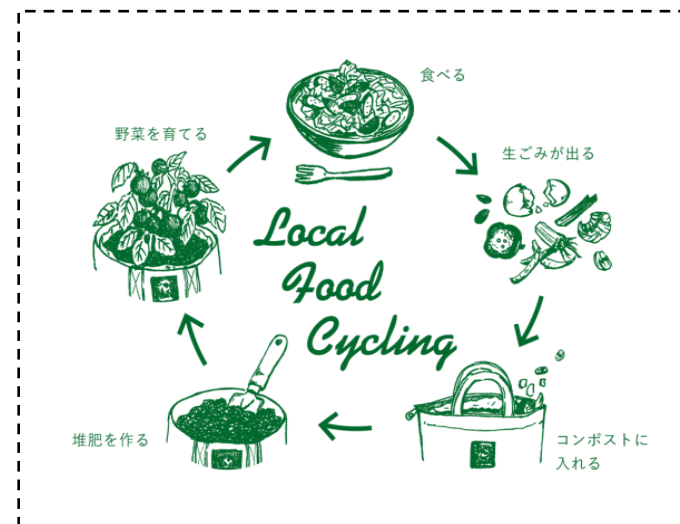
- コンポスト販売企業のローカルフードサイクリング株式会社は、**家庭の生ごみに着目し**、2021年10月より、株式会社夢びととタッグを組んだ。
- 家庭に向けてコンポストの提供や普及啓発をし、堆肥の回収や活用、交流イベントの実施など**循環パートナー企業の運営を支援**。
- コンポストの利用には手間がかかるため、各家庭での導入には限界がある。

■ スキーム



出典：PR TIMES

■ コンポストから生まれる食循環



出典：ローカルフードサイクリング株式会社

持続的なコンポスト利用に向けて

■ 家庭での堆肥化を促進させるために

- 生ごみを細かく刻む等の事前準備を各家庭側で行う必要があり、堆肥化によるメリットが少ない。
- 堆肥を企業に提供することで対価を得らえるメリットがあり、各家庭で導入したいと思えるのが理想。
- コンポスト販売企業、小売店、堆肥が必要な企業が連携し、堆肥化された量に応じて家庭に**現金還元される仕組み**が必要。

■ ドイツのデポジットシステム

	容器	デポジットシステム	飲料の種類	デポジット
リターナブル	洗浄し、再度充填される「リユース型」。製造コストと資源を削減できる。	業界が自主的にデポジットシステムを導入している。	ビール	8セント (約10円)
			ビール(ワイヤーロック式) ミネラルウォーター ジュース・ソフトドリンク	15セント (約18円)
			ワイン	2~3セント (約2~4円)
ワンウェイ	細かく粉砕されたのちに、再加工される「リサイクル型」。	国が法的に容器の製造・販売事業者に回収・分別の責任を負わせ、強制的なデポジットシステムを導入している。	ビール アルコールフリービール 低アルコール飲料 ミネラルウォーター 清涼飲料水 全て0.1~3リットルの製品	25セント (約30円)
			上記飲料と同じで、0.1リットル未満もしくは3リットル超過の製品	
			紙パック・パウチ入り飲料 ジュース、ネクター 乳幼児用ドリンク ワイン・シャンパン・蒸留酒 牛乳・乳飲料	デポジットなし リサイクルゴミとして、廃棄

■ デポジット対象製品



出典：ORGANIC PRESS

出典：ORGANIC PRESSを基に筆者が作成

生ごみを資源に変えるコンポストで食の循環型社会を目指して

■ 参照・引用資料

- 環境省, 「一般廃棄物処理事業実態調査の結果(令和2年度)について」 (<https://www.env.go.jp/press/files/jp/117713.pdf>)
- OECD, 「Municipal waste」 (https://read.oecd-ilibrary.org/environment/environment-at-a-glance-2015/municipal-waste_9789264235199-14-en#page2)
- 環境省, 「令和元年度 食品廃棄物等の発生抑制及び再生利用の促進の取組に係る実態調査」, 2020年3月 (<https://www.env.go.jp/recycle/H31houkokusyo.pdf>)
- 厚生労働省, 「令和2年度食品からのダイオキシン類一日摂取量調査等の調査結果について」, 2021年12月23日 (https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_22963.html)
- PR TIMES, 「ごみカフェKYOTO」プロジェクトの概要」, 2021年10月7日 (<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000009.000052836.html>)
- ローカルフードサイクリング株式会社, 「LFCコンポスト 生ごみから美味しい野菜をつくろう」 (<https://lfc-compost.jp/>)
- ORGNIC PRESS, 「ドイツのデポジットシステムとは?」 (https://organic-press.com/column/kohgi_column_vol34/)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先: info@sfinter.com



株式会社サティスファクトリーは、SDGsに係る人材教育プログラム『[KIZUNA ESD](#)』を企業に提供しております。全ての従業員によるサステナブルレポート作成やSDGs映画上映会の実施など、各種運用の導入と内製化を支援いたします。

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は株式会社サティスファクトリーに帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

— サステナブルレポートとは? —

サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマをとりあげ、サティスファクトリー社員が調査報告書を作成・発信しています。



全従業員で
毎週更新中